



アキレス 美知子

SAPジャパン
特別顧問

女性リーダーたちとの出会い

私が初めて国際会議に参加したのは、2010年5月北京で開催された世界女性サミットでした。

北京に着いた夜、サミットのオープニングと晩さん会が人民大会堂で盛大に行われました。2008年の北京オリンピックを成功裏に終え、リーマン・ショックも乗り越えた中国には勢いがありました。それまで会議といえば男性が9割以上でスーツばかりの光景に慣れていた私にとって、60カ国から集まった1,000人の女性リーダーたちが華やかな民族衣装をまとい、笑顔で堂々と歩く姿は圧巻でした。各国の自信あふれる女性リーダーたちと交流し、大いにインスパイアされました。

特に印象深かったのは、当時チリの女性担当大臣を務めていたカロリナ・シュミットさん（その後の環境大臣）でした。ビジネスウーマンだったカロリナさんは元チリ大統領ミCHEル・バチェレさんに見いだされ、2010年に女性担当大臣に就任したばかり。まさに輝いていました。彼女はとても気さ

くで「日本は私のお気に入りの国なの」と話し掛けてくれました。この写真は彼女（中央）を囲んで、チリの代表団と撮ったものです。私は気後れしないように、日本ではちょっと着られないようなピンクのパンツスーツを着ています。

このサミットをきっかけに「日本の女性にグローバルな場で素晴らしいリーダーたちと交流してほしい」との思いが強まり、その後私が、APEC女性と経済のサミット、世界女性サミット、G20/Women20、G20/EMPOWER (Empowerment and Progression of Women's Economic Representation)などで日本代表や実行委員をお引き受けすることにつながりました。

新型コロナ下で、しばらく会合はオンラインとなりますが、収束後はより多くの日本の女性そして男性がグローバルな場で刺激を受け、成長する機会を持てるように後押ししていきたいと思います。



チリの女性担当大臣ら同国代表団と筆者（2010年5月北京開催の世界女性サミット）